



東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...



福玉便り

2016年7月1日発行

ふく たま だ よ り

通巻第 50 号

発行『福玉便り』編集委員会 NPO法人埼玉広域避難者支援センター・(一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉
協力:生活協同組合コープみらい埼玉県本部 デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉 メール:fukutama@431279.com
連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731

福玉交流サロンin川口

7月13日(水) 午前11時開会 川口リリア

第12回福玉交流サロンを川口市で開催します。2013年8月から始まった福玉交流サロンも12回目を迎えました。今回は、富岡町復興支援員を中心に浪江町、福島県の支援員も協力して開催します。避難区域の方も区域外避難の方もぜひお集まり下さい。

- 会場 川口リリア 7階和室・「茶室」川口市川口1-1
- 内容 昼食会と「抹茶のお点前(お菓子付)」、懇談 ビンゴゲームなど
- アクセス 川口駅に隣接、徒歩1分
- お申込み・お問合せ 各復興支援員または埼玉労福協(048-833-8731)まで

パリ祭 シャンソンコンサートへのご招待

7月23日(土)

15:00開場 15:30開演

国立女性教育会館7エック



シャンソンの名曲を一流のシャンソン歌手が分かりやすく楽しく聞かせてくれます。誰でも聴いたことがある曲を中心に、とっても楽しい曲がいっぱいです。

出演①岩崎桃子(主演)②古澤利人③小林遼介④真笛ひびき(元宝塚歌劇団)⑤広瀬真弓(スペシャルゲスト)

●100名無料でご招待頂きました。(今年で5年目、毎年お声掛け頂いています。)

●お申込み・お問合せ 048-833-8731 埼玉労福協まで

ときがわで川遊びとバーベキュー!

8月7日(日) 午前10時~16時頃

比企郡ときがわ町旧大柵第一小学校跡地

暑~い埼玉の夏を楽しく乗り切るために、親子で山歩き&川遊びをしませんか?川遊びの後はみんなだバーベキューを楽しみます。埼玉で《田舎あそび》をしましょう!



- 会場 比企郡ときがわ町旧大柵第一小学校跡地
- 集合・受付 ときがわ町「建具会館駐車場」9時30分から
- 募集人員 中学生までの子供をもつ家族80人
- 参加費 大人500円・中学生以下無料
- お申込み・お問合せ 048-833-8731 埼玉労福協まで

福玉便り★50号記念! プレゼント!



50号の感謝をこめて、下記のいずれか50名様にプレゼントします!

A ミスタードーナツ商品券カード1000円分

B こども商品券、1000円分

●申し込み方法

①お名前、②ご住所、③A・Bのご希望の券、④福玉便りについて一言!(こんな記事を読みたい~、こんな記事がよかったよ~)を書いて下記までお送りください!

7月31日締め切り

はがき または メール または FAX で下記まで
〒330-0061 さいたま市浦和区常盤6丁目4-21
埼玉労福協 福玉便り50号プレゼント係
メール:fukutama@431279.com
FAX 048-833-8746



教育相談会

高校入試のしくみなどの相談会を行います。
8月下旬で計画中です。詳細は次号にて!!



ひろば 避難中の皆さんのお声をお伝えするコーナーです。

渡辺芳美さん

大熊町から宮代町に避難



直売所に出
して、4年
目から摘み
取りを始め
ました。

地震の日
の夕方、
「原発の温
度が下がら
ないので、避
難してくだ

難してくだ
さい」とい
うことで、
行政区の公
民館に行き
ました。次
の日の朝早
くに、役場
が手配した
バスが十何
台か来て
いて、バス
に乗って国
道288号
線を西に向
かいました
。近い
避難所から
入れるだけ
入って、妻
と親父と3
人、(田
村市)常葉
の公民館に
入りました
。たまたま
携帯電話で
連絡が取れ
て、郡山市
に二番目の
娘がいるも
のだから、
泊まりにい
きました。3
人で、
次女の所に
2ヶ月いま
した。その
頃は毎日の
ようにテレ
ビ報道があ
って、原発
が収束しそ
うにないで
すから…。
東京で息子
と一番目の
娘が働いて
いるもので
すから、5
人で一緒に
住もうじや
ないかとい
うことで、
春日部で一
軒家を借り
ました。

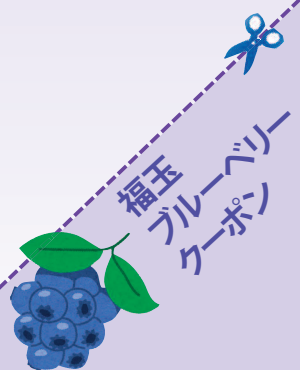
農業もでき
ないと一大
転換をして
…。こちら
でブルーベ
リーができ
ないかと、
春日部と宮
代の役場に
相談して、
土地を探し
ました。宮
代の町役場
で案内して
くれた1つ
が、ミニな
んです。候
補地の中から選
んで、平成
24年の1月
から畑を始
めました。
春日部に來
てから娘が
結婚して、
4人になっ
て。親父は
もともと持
病があった
んです。が
、こちらに
來てから病
状が悪化し
て…。買っ
ても借りて
も、どこか
に少し落ち
着こうと思
って。落ち
着くという
のは、精神
的なもので
すよね。畑
の近くに建
売りが見つ
かって、宮
代町に來た
のが25年
の9月です
。それから
一年して親
父が亡くな
りました。
今は妻と息
子と3人で
住んでいます
。

いる人によ
く話しかけ
られるん
ですよ(笑)
。私が植え
たのが刺激
になったの
か、周りの
方々が何本
か植えてい
て、「ミニな
時はどうす
るの?」と聞
かれるので
、知ってる
範囲でお話
します。私
もミニにお
世話になっ
て、農家の
長男でもあ
りませんし
、宮代町の
農家の収入
を上げるの
に少しでも
貢献したい
という思い
があります
。担当課の
課長さんと
は、「観光農
園のバスツ
アーをしま
しょう」と
いった話を
していま
すよ。
畑にいら
した方に名
前を書い
てもらう紙
を置いてい
るんですが
、福島の方
はほとんど
の方が名前
を書いてく
れますね。
今月も福島
の方が3組
いらっしゃ
る予定です
。郵便局に
いきました
ので、大熊
の方であら
ばだいたい
名前が分か
ります。皆
さんばらば
らになって
しまいました
が、身体を
動かし、健
康管理に気
を付けてい
ただきたい
ですね。

(聞き手:編集部・原田)

ブルーベリー狩りに行きませんか

- 開園期間 2016年7月10日(日)~8月中旬頃(収穫できる間のみ)
- 開園時間 午前10時~午後4時頃
- 入園料 大人(高校生以上):1,000円、小人(小・中学生):500円、未就学児:無料
- ※「福玉ブルーベリークーポン」で大人1人・100円引き!!
- 電話番号 090-6685-6436(渡辺芳美)
- 住所 埼玉県宮代町金原295「はらっパーク宮代」西側 ※「渡辺ブルーベリー園」の看板が目印



借り上げ住宅の今後は？

前号では、県営住宅と民間賃貸住宅についてお伝えしましたが、国家公務員住宅・雇用促進住宅・UR住宅について、今後、借上住宅は打ち切り後にどうなるのか——福島県・埼玉県に聞きました。

まず、国家公務員住宅や、取り壊しが決定している住宅については、残念ながら、3月以降、住み続けることができない、ということになっているそうです。理由を尋ねると、耐震上の問題



があり、難しいのだと言います。また、UR住宅・雇用促進住宅に関しては、「できるだけ住み

◆県営住宅に入居が決まると、家賃が発生します。

災害救助法の適用が2017年3月までなのに、早めに申し込みをすると家賃を支払わなくてはならない。家賃発生を知らなかった——という失望の声が届きました。1月の募集まで待ったほうが、家賃負担がなくて済むから、応募するにも踏み切れない——そんな声も聞かれています。抽選から外れるリスクを負って1月にするか、その前に応募して家賃を負担するか。本来は、そのリスクや負担がなければ、県営住宅を選択肢のひとつとして、考慮しやすくなるのも事実です。

この件に関してとある災害弁護士に聞いたところ、「制度上は、『借上住宅の住み替え』ということにすれば、3月までの無償供与は不可能ではないはずだが、それは福島県の対応次第」と話しています。

埼玉県の県営住宅の入居戸数を増やすことにしても、こういった問題があることも事実です。この件に関して、福島県にも問い合わせをしていますが、おそらくこの問題は埼玉県だけのものではないはず。今後、どうなっていくのか——ひとりひとりの暮らしを支える「住まい」の重要なひとつの課題です。今後も、注視したいと思います。

続けられるようにしてほしい」という要望を、福島県として国のほうに伝えていくそうですが、実際は、それぞれの住宅の提供主体がバラバラで、その提供主体の判断が決定していないところもあるとのこと。はっきりしたことがまだ言えない状況のようです。状況が良いケースと、良くないケースがあるということなので、個別訪問時に、詳しく聞いてみてください。

現在行われている個別訪問には、県営・民賃・国家公務員住宅には、埼玉県住宅供給公社の担当の方と福島県の担当の方が一緒に回ります。UR・雇用促進住宅には、福島県の担当の方しか回っていないそうです。

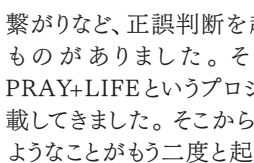
実際には、どのような形態の住宅にお住まいでも、条件が合えば、選択肢のひとつとして、県営住宅に応募することは可能です。埼玉県では、県営住宅の「自主避難者枠」を

100戸まで増やしていく予定なので、お住まいの近くの県営住宅にも「自主避難者枠」を作ってほしい、といった要望も、個別訪問時にはぜひ伝えてみてください。詳細が気になる方は、埼玉県の住宅課に問い合わせしてみてくださいね。次の募集は、7月になります。(048-8330-5564・埼玉県県営住宅担当)

先日、6月11日の「ぼろろん」の時間では、住宅をテーマに呼びかけましたが、「はじめて交流会に参加しました」という方が3人、いらしてくださいました。お越しくださったみなさん、ありがとうございました。多くの方が、今後の住まいをどうするかについて悩んでいらっしゃる。今後、改めて、「借上住宅問題」に詳しい専門家・弁護士さんをお呼びして「住宅」をテーマにした交流会も開催していきたいと考えています。(編集部・吉田)

さいたまトリエンナーレに声・思い出の品を 藤城 光

2011年、私がいわき市に移住して少しした頃、地震、津波、原発事故が起きました。一瞬にして姿を変えた日常が、混乱や分断、不安、差別などを生み出してゆく中で、私は出会った福島の人々に話を聴くことをはじめました。そこには、様々な想いや事情や仕事を抱え、家族や職場、友人との繋がりが、正誤判断を越えたところにある、一人ひとりのかけがえのない生きる姿そのものがありました。その一人ひとりの声を残し伝えたいと思い、私は有志とPRAY+LIFEというプロジェクトを立ち上げ「ふくしまの声」として冊子やウェブサイトに掲載してきました。そこから何かを感じてもらえたら、互いに理解しあうために、同じようなことがもう二度と起こらないようにとの祈りを込め、活動を続けています。



そして今回、アートという形で福島の体験や想いを残し伝えるものを制作し、この秋開催される芸術祭「さいたまトリエンナーレ」に出品する機会を頂きました。そこで、福島の方・福島に繋がる方の体験や想いを募集し、みなさまのお声や文章、思い出の品を作品化したいと思います(お名前は出しません)。

福島の経験は誰も経験したことが無く、残し伝えなければ消えてしまいます。だからこそ今、この時を共に生きている私たちが一緒に考える時間を持ってたらしめてほしい。ぜひ、想いを届けてください。みなさまのご参加をお待ちしております。

募集内容

- ① 声のメッセージ
 - ・震災前、当日、何をしていたか。
 - ・体験したこと、印象が強い情景や出来事など。
 - ・残し伝えたいこと。
 - ※ご連絡いただいた方の元へプロジェクトスタッフがお声を伺いにいきます。
 - ※文章での参加も可能です。(メールでお送りください。)
 - ※音声は吹き込んで、ウェブを通じてや郵送でお送りいただくことも可能です。
- ② 思い出の品(定員に達し次第終了となります)
 - ・以前の生活の大切な思い出のもの、残し伝えたいものなど。
 - ※お預かりするお品は相談の上決定となります。
 - ※漆塗りし保存・展示します。
 - ※持ち出せる線量以下のものに限りです。

応募締め切り 8月10日

連絡先・お問い合わせ

藤城 光(アーティスト)

メール hikari.fujishiro@gmail.com 電話080-5523-6902

PRAY+LIFEホームページ <http://praylife.net>

『福玉便り』創刊から50号を振り返って

『福玉便り』は2012年4月の創刊以来、埼玉県内に避難した方々の情報新聞として、ほぼ毎月のペースで発行を続けてまいりました。読者の皆さまのお陰で、今号で第50号を迎えることができました、ありがとうございます！第30号に掲載した記事とも一部重なりますが、創刊からこれまでを振り返っていききたいと思います。(編集部・原田)

『福玉便り』創刊！



「埼玉県内に避難した方々に向けて、情報を届けることができないうか」。各地の物資提供などに取り組んでいた埼玉労福協の永田、スパーアリーナ



で掲示板「福玉ボード」などに取り組んでいたハンズオン埼玉の西川、各地の交流会に伺っていた当時大学院生の原田の3人で、そんな話が持ち上がったのは、2011年末のことでした。モデルとなったのは、福島県内の避難者向けに発行されていた『ふくしま絆新聞』。早速、発行団体のうつくしまNPOネットワークに視察をしながらアイデアを出し合

い、交流会のカレンダーとマップを載せる、現在の紙面のイメージが固まっていきました。「お便り」として届けるという意味を込めて名前が『福玉便り』に決まり、スパーアリーナが主催する日帰りバス旅行(2012年3月25日)の参加者に向けて、発刊準備号を配布することになりました。

発刊準備号を元に、2012年4月に正式に第1号を発行。埼玉労福協・ハンズオン埼玉・震災支援ネットワーク埼玉の共同発行としてスタートしました(2013年4月からは埼玉労福協・ハンズオン埼玉・コープみらい埼玉県本部の共同発行、

今もつづくイベントのご案内



2016年5月からは埼玉地域避難者支援センター・埼玉労福協・ハンズオン埼玉の共同発行)。2012年7月の第3号から、富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部さんに印刷をご協力いただけることが決まり、毎月5000部を発行できるようになりました(現在は毎月4000部発行)。また、編集部ライター伊藤(吉田)が加わって、2012年11月の第7号からページ数も8ページに増量しました。

2013年5月から、赤い羽根共同募金「災害ボランティア・NPOサポート募金」の助成を受けて、発送費等に活用させていただいています。そして、毎月発行の作業は、

10団体だったのが、現在は約30のグループや交流ボランティアの方々に支えていただいています。

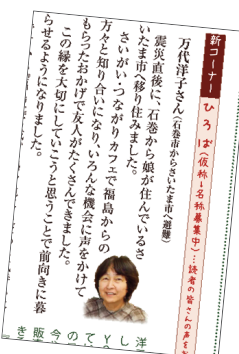
■これまでの紙面から

創刊以来、『福玉便り』では毎月発行のペースを維持しながら、各地の交流会やイベント、子育て・健康・教育・住宅問題などに関する情報などを掲載してきました。毎月のカレンダーに掲載する団体も増えて、創刊号では26人の方にご登場いただきました。その他、不定期で表のような特集記事を掲載してきました。

最近の紙面では、住宅問題に関する記事が増えています。永田が執筆

表 『福玉便り』に掲載した特集記事(抜粋)

第7号(2012年11月)	埼玉県で受けられる健康検査
第8号(2012年12月)	避難ママへー埼玉県の子育て支援情報ー
第9号(2013年2月)	甲状腺検査レポート
第12号(2013年5月)	原子力損害を巡る賠償の枠組みと現状について
第13号(2013年6月)	東京電力が公表した財物賠償の仕組みについて
第14号(2013年7月)	福島第一原発事故による損害賠償請求権の消滅時効について
第16号(2013年9月)	原発事故子ども・被災者支援法のいま
第18号(2013年11月)	ご存知ですか?避難指示区域外(自主避難区域)の原発ADR
第25号(2014年6月)	復興公営住宅モデルルーム見学ツアー
第26号(2014年7月)	埼玉県の高校入試のしくみ
第29号(2014年10月)	田村市都路を訪問してきました
第30号(2014年11月)	NHK受信料の免除について
第39号(2015年8月)	榎葉町 解除前のいま
第43号(2015年12月)	復興支援員さんから(復興支援員事務所のリレー記事)



ひろばコーナー 10号から

交流会の情報・様子を伝えるところから

福島の状況も



した第18号（2013年11月）の「長期化する避難生活を支えるには住環境の改善が必要」という記事を皮切りに、第23号（2014年4月）からは伊藤（吉田）による「避難住宅を考える」が連載されています。読者の皆さまにとつて大変重要なテーマである住宅問題に關しては、引き続き紙面を割いて情報をお届けしていきたいと思ひます。



通常の『福玉便り』に加えて、2013年3月には、法政大学の西城戸と原田の監修で、『福玉便り2013春の号外』を発行。避難生活を支えるには住環境の改善が必要」という記事を皮切りに、第23号（2014年4月）からは伊藤（吉田）による「避難住宅を考える」が連載されています。



難した方々の座談会、自主避難した

して活躍させている方々の座談会、自主避難した方から「原田さんのお名前は、『福玉便り』で存じ上げていますよ」



発送は今も毎号、ボランティアさんが担っています。

方々の座談会、などを掲載しました。5000部を発行して、NHKや朝日新聞・毎日新聞などに取り上げられました。翌年以降も、毎年3月に24ページに増量した『福玉便り 春の号外』を発行しています。

通常の『福玉便り』に加えて、2013年3月には、法政大学の西城戸と原田の監修で、『福玉便り2013春の号外』を発行。避難生活を支えるには住環境の改善が必要」という記事を皮切りに、第23号（2014年4月）からは伊藤（吉田）による「避難住宅を考える」が連載されています。

■これからの紙面に向けて

これまで『福玉便り』を50号作ってきたつもりは、人との出会いです。取材を通して、本当にたくさんの方々とお会いすることができました。読者の方々から、『福玉便り』が届くと、私達がここにいる事を忘れないで居てくれる人がいると思ひます。『福玉便り』により人に会いお話をできる楽しみをみつけ、うれしくなります。といったメッセージをいただいたり、初対面の方から「原田さんのお名前は、『福玉便り』で存じ上げていますよ」



み協まの印刷機（4ページ印刷機）をいただきました。（現在は4ページ印刷機）

と声をかけていただきありがとうございます。微力ながら皆さんの役に立てているのかなと感じます。もちろん、本日は載せるべきだった情報を取りこぼしてきたことも、多々あると思います。編集部マンパワーに限りもあり、「いつまで発行を続けるべきだろうか」「これからどのような情報を読めれば良いのだろうか」という迷い、いつも抱えています。それでも必要としてくれる方がいる限り、ペースを落としてでもできる限り長く、発行を続けていきたいと考えています。



『福玉便り』のバックナンバーはすべてホームページ（http://fukutama.wordpress.com/）でお読みいただくことができます。



01号のカレンダー



2か月分掲載に(12号)



情報が入りきらず(26号)



マップカレンダー合体式(27号～)



1ページ仕様に再変更(47号～)

※これまで『福玉便り』編集部に関わった人々たち（五十音順、所属は当時）
愛甲裕（震災支援ネットワーク埼玉）、猪狩茜（立教大学）、池田梨奈（立教大学）、石川洋介（埼玉大学）、伊藤（吉田）千亜（ライター）、薄井篤子（さいがいつながりカフェ）、相知颯太（埼玉大学）、谷居早智世（ハンスオン埼玉）、永田信雄（埼玉労働協）、西川正（ハンスオン埼玉）、西城戸誠（法政大学）、原田峻（立教大学）、福岡和敏（コープみらい）、町田由香（震災支援ネットワーク埼玉）



福玉カルトQでこの男性の熱唱中の写真は号外に掲載されているでしょうか？

〇さん

南相馬市原町区から

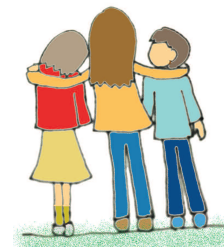
坂戸市に避難

私は地震が起きたとき、小高区の会社の中にいました。300人くらいの会社で、その時は200人くらいが会社にいました。安全が確保できないという理由ですぐには帰れず、だんだんと子どもがいる女性から帰してもらえようになり、道路の陥没や道の渋滞に巻き込まれながら、私がか家に着いたのは16時過ぎだったと思います。子どもたちも、家に帰っていました。それ以外に、地震の日の記憶はなぜかあまりないんですけど…。

原発が爆発したのは12日ですよね。私が住んでいる原町区は防災無線がなかったので、原発のことは広報車が何か言っているなどというのと、人づてに聞いて知りました。小高区に住んでいた兄の家族が私の家に避難してきて、「原発が危ない」という話はしていたので

すが、どう「危ない」なのかはわからなかったです。原発で働いていた夫の知人から「まだ残っているんですか？自分たちは山形に避難しましたよ」と連絡があったのと、周りのみんなが「危ない、危ない」と言っていたこともあって、流されるように避難を決めました。

元々主人が単身赴任で坂戸にいたので、次の日の朝に「迎えに来て」と連絡して、当時小学生だった娘・息子と避難を始めたのが、14日の10時くらいだったと思います。幸い軽油が実家にあつたので、避難の前に入れて来られたのはよかったですね。道が混んでいることもあって、15日のお昼頃に坂戸に着きました。ただ、避難するときに線量の高い山の方を通ったことを、今でも後悔しています。それから半年間、夫の自宅の6畳1間に4人で生活していました。そのあと坂戸市内の借り上げ住宅に



入ることができ、そこで2年間お世話になってから、こちらで中古の家を買いました。こちらに避難してからは、知り合いもいないので、情報がないことに困りました。娘がちょうど中学校に入学する時期だったので、制服やジャージ、文房具もなければ、そもそもこの中学校に入ればいいのかもわかりませんでした。手続

きも大変でしたね。でもちょうど、制服とジャージのサンプルならあるとのことだったので、ありがたく頂戴しました。また、近所さんからも文房具などをわけてもらえました。子どもたちもすぐに友達ができようで、その点では周りの関係はよかったです。ただ、娘が高校に進学するときも、こちらの高校のシステムがわからなくて苦労しました。情報を得るために私立高校の説明会にも行きました。周りが

塾に行ってたから、うちも塾に通わせなきゃ、なんてお金がかつたりもしました。娘はこちらに来てやりたいことができて、先生も熱心な高校があったので、無事進学することができました。

避難して最初の年は、坂戸市の社協さんが企画してくれた交流会に参加していました。『福玉便り』が届くようになり、坂戸のオルモで交流会があると知って顔を出したのが、「ミニカフェ」です。当時はお先が真っ暗なように思えて、交流会に行けば何か情報もらえるかも、という思いでした。

今後は、まずは子どもたちを就職させること。やはり子どもがいるから頑張れる、というところはあります。また自分のためには交流会を続けられるだけ続けること、あとは健康に生きること。私も「ミニカフェ」や「ぼろろん」を生きがいにしてきたところがありますし、ただ話を聞いてもらいたい人がまだいると思います。最近、「ミニカフェ」や「ぼろろん」などで集まっていると、他の皆さんも進学の話を感じたいんだなということを感じるので、自分の体験も話せれば良いなと思っています。その人たちのためにも、できるだけ交流会は今後も続けていきたいです。

また避難当初は、周りがどう思っているかの反応が怖かったです。ママ友から「もう戻れないの？」と聞かれたら、なんて答えようと悩みました。それで「余計なことば言えない」と考えてしまっ、元々あまり話すタイプではないのに、発言が少なくなってしまうようになって、福玉が届くようになって、集まりに参加するよう

(聞き手・編集部・池田)

「いつでも、なんでも、お気軽に」 福島県県外避難者相談センターが開所しました

相談ダイヤル:0120-60-7722(フリーダイヤル)

2016年6月6日に福島県県外避難者相談センターが開所しました。場所は、浪江町、富岡町、福島県の復興支援員事務所がある、ときわ会館(埼玉県勤労者福祉センター)です。復興支援員の方も勢揃いする中、福島県企画調整部批判者支援課の三瓶徹さんなどの挨拶とテープカットのセレモニーがありました。

相談センターは、福島県から埼玉県に避難されている方を対象に、住居、健康、子育て、就労、就学や、生活再建に関する相談を受け付けます。電話での

相談も可能です(フリーダイヤルですので通話料は無料)ので、お気軽にご相談ください。

月曜日は石上寿美子さんが担当する健康相談の日です。火曜日から木曜日の相談は、社会福祉士でもある佐藤順子さんが担当します。佐藤さんは、県外避難者への戸別訪問を続ける復興支援員の方から、避難者の多様な現状を聞き、地域によって異なるさまざまな支援制度を調べて、個別に丁寧な対応をしたいと話されていました。金曜日

表理事で、さいがいつながりカフェを運営されている、薄井篤子さんが相談員を担当されています。

相談センターの運営主体である、埼玉労働者福祉協議会の永田さんは、「この相談センターには、県外避難者にとって必要な情報(住宅、賠償、健康・福祉、教育など)を多く集めて提供していきたい。また、復興支援員と連携して、県外避難者支援を充実させたい」と話していました。県外避難者支援の拠点としての活動が期待されます。

(編集部・西城戸)

【福島県県外避難者相談センター】電話048-749-1677 FAX048-816-4800 E-mail: fukushima_soudan@yahoo.co.jp
対応時間 月曜日から金曜日 午前九時～午後五時(祝日・年末年始は除きます)

見て、聞いて、描いて、体験できる 「アートと落語の会」

- 日時:8月6日(土)
＜家族で描くアート教室＞
午前の部 10:00～11:30 午後の部 13:30～15:00 ※午前と午後は同じ内容です。
＜ココだけの、体験できる落語会＞
12:00～13:00 落語家 柳家 わさび
- 会場 ときわ会館 大ホール 〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6-4-21
- 定員 アート教室(各会) 30名 落語会 60名 ●参加費 無料
- 主催 特定非営利活動法人 日本臨床美術協会
- お申込み・お問合せ 同事務局 TEL 050-3735-2028 (平日9時30分～18時30分)



東日本大震災を風化させない!

8月1日(月)

時間: 13:00 開場13:30 開演 場所: 越谷市中央市民会館劇場ホール 入場料: 無料
出演: 日本舞踊(大熊町)・太鼓演奏(南越谷子ども太鼓どんどこ)・腹話術(山中律子) 特別ゲスト: 潜撃志&台北オカリナ楽団
主催: 紳の灯プロジェクト 共催: 一步会、グース後援: 越谷市、越谷市教育委員会、越谷市社会福祉協議会、草加市社会福祉協議会、東武よみうり新聞社
問い合わせ: パンダ理容室蒲生店 電話: 048-989-1141

ありがとうございます!
福玉便りは、「赤い羽根共同募金の災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)の助成金をいただいて、発行しています。

福玉便りのお届け作業を一緒にやったださる方、大募集! 7月21日(木) 13:30-16:00ごろ
可能なお時間で。場所: 埼玉労福協(ときわ会館)印刷などの都合で日程が変更になるときがあります。できれば、「ご一報」ご確認いただければ幸いです。労福協048-833-8731まで



福玉便りお送りします。
ご希望の方にお送りいたします。
ご連絡お待ちしております。

本誌に関するご連絡はこちらまで

『福玉便り』編集委員会

連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会
電話048-833-8731
メール:fukutama@431279.com
こんな情報を掲載してほしい、この記事はよかった、など感想や質問をお寄せください。
メール:fukutama@431279.com

2年次から原田先生のゼミに所属しており、コミュニケーションカフェに参加させていただいたり、各地の交流会主催者や復興支援員の方々にお話を聞かせていただいたりすることができました。今年度は卒業研究のため、交流会や復興彩り会議をはじめ、取材にお伺いすることがあると思います。自分自身が勉強するだけでなく、何か皆様のお役に立てるようなこともできればなおと思っています。これからどうぞよろしくお願い致します。

こんにちは、編集部です。
こんにちは。立教大学コミュニケーション福祉学部コミュニケーション政策学科4年の池田梨奈と申します。生まれは宮城県仙台市、育ちは宮城県名取市です。震災当時は高校1年生で、部活動の最中に地震が来たのを覚えています。
幸いにも家は無事でしたが沿岸部を見た時の驚きは今でも忘れられません。
2年次から原田先生のゼミに所属しており、コミュニケーションカフェやぼろろん、各地の交流会主催者や復興支援員の方々にお話を聞かせていただいたりすることができました。今年度は卒業研究のため、交流会や復興彩り会議をはじめ、取材にお伺いすることがあると思います。自分自身が勉強するだけでなく、何か皆様のお役に立てるようなこともできればなおと思っています。これからどうぞよろしくお願い致します。



福玉カレンダー

8月

29 鳩のつどい
月2回 10:00~12:00
JAXA鳩山宿舎108号室
☎049-296-1241(鳩山町健康福祉課)

32 福玉・謡曲の会
7/10(日)10:30~12:00
WithYouさいたま和室
☎090-6128-1948(小林さん)

33 つながり
7/23(土)
毛呂山町 ☎090-9032-8116 河井さん

18 ひまわりの会
7/20(水)10:00~ 絵手紙
やすらぎ会
☎080-5431-0123(島田さん・留守電)

19 さいがい・つながりカフェ
心ゆくまでおしゃべりできます。
お気軽にご連絡ください。
月2回木曜日11:00~15:00
7/14(木)、7/28(木)、8/25(木)
With You さいたま 4F 和室
(埼玉県男女共同参画センター・新都心駅7分)
☎048-601-3111(さいがい・つながりカフェ)

22 浪江のしゃべり場
浪江町の復興支援員が常駐しています。
お気軽に遊びに来てください。
月曜日~金曜日10:00~17:00
浪江町復興支援員 埼玉事務所
さいたま市 ☎048-833-8731(埼玉労協)

23 和光3・11 つながりカフェ
8/7(日)10:00~15:30
板橋区成増団地の夏祭りに参加
☎048-452-7606(和光市ボランティアセンター)

24 新座さいがい つながりカフェ
7/9(土) 医療生協による健康チェック&懇談会 13:30~16:30 栄公民館2F研修室
8/20(土) 暑気払いカラオケ大会&懇談会13:00~16:00 カラオケハウス「パンパン」(要申込)
新座市 ☎090-2402-9155(谷森さん)
☎080-6023-2799(福地さん)

25 青空あおぞら
7/24(日) 納涼会 17:00~19:00
甘太郎所沢店(16:45に所沢駅西口階段下集合。会費制・要予約7/17締切)
所沢市 ☎048-829-7400(SSN)

26 お茶飲み交流会
隔月1回 10:00~12:30
7/9(土)10:00~12:30
市民福祉活動センター(ばれっと)
☎049-251-2711(富士見市安心安全課 梶田さん)

27 おあがんなんしょ
7/10(日)コンテスト出展用の七夕飾り作り(軽食あり)10:00~16:00フクトピア
8/6(土) 昼食と談話、上福岡七夕まつりの見学・散策 11:30~ 天七 ☎090-5345-8408(松館さん)

28 ここカフェ@川越
心の内を話せる場、お子様連れも大歓迎です。毎月1回
7/2(土) 長瀬カヌー遊び体験会
☎070-5594-0053(鈴木さん)

6 負けねっちゃきりり
石巻から伊奈町に避難されている高橋さんが呼びかけています。どなたでもどうぞ。
伊奈町 ☎090-7244-9267(高橋さん)

7 向原団地被災者の会
時々交流会しながら、つながって行きましょう(*^o^)/(^-^*)
上尾市 ☎080-6044-2922(富永さん)

8 東日本大震災に咲く会 ひまわり
毎月第1土曜日
7/2(土)、8/6(土) 会合 10:00~12:00 シラコバト団地第一集会所
7/21(木) ボランティアカフェと友達になろう 19:00に北上尾駅東口集合
8/20(土) シラコバト団地祭にて浪江焼そば出店
上尾市 ☎048-607-6723(団地自治会事務所) ☎080-3091-6215(橘さん)

10 くまがや結の会
熊谷市 ☎090-7661-9236(林崎さん)

11 羽生つながりカフェ
羽生市 ☎080-5532-7380(薄井さん)

12 お茶っこふるさと会
毎月第4 週水曜日10:00~12:00
久喜市 ☎090-6855-7140(木幡さん)

13 杉戸元気会 つつじの里サロン
定例毎週木曜日13:30~15:30
国家公務員宿舎杉戸住宅(つつじの里サロン)杉戸住宅6-301
☎0480-33-3455(佐藤さん)

14 春日部つながりカフェ
7/6(水)、8/4(木)13:30~16:00
コーププラザ春日部2F第1会議室(法律相談可能)
☎048-829-7400(SSN)

15 ひだまり広場
月1回 参加費無料12:30~16:30
7/17(日)、8/21(日)
ほっと越谷(北越谷駅東口1分)
☎090-6456-5497(今野さん)

16 あゆみの会
7/3(日)9:00~ コープみらいプラザまつりin越谷にて、なみえ焼きそば販売 コーププラザ越谷
7/9(土)10:00~ ブルーベリー狩り 宮代町渡辺ブルーベリー園
7/23(土) パッチワーク教室 10:30~14:30 石上さん宅
越谷市 ☎090-9425-2001(石上さん)

17 つながりの会
毎月第2木曜日10:30~16:30
7/14(木)、8/18(木)東北復興支援販売 草加市物産・観光情報センター
☎048-932-6770(草加市社協地域福祉担当)

こちらのサイトにも情報があります。
<http://431279.com/>
(SSN震災支援ネットワーク埼玉)

1日(月)	
2日(火)	
3日(水)	
4日(木)	13 3 14
5日(金)	
6日(土)	8 27
7日(日)	23
8日(月)	
9日(火)	
10日(水)	
11日(木)	13
12日(金)	
13日(土)	
14日(日)	
15日(月)	
16日(火)	
17日(水)	
18日(木)	13 17
19日(金)	
20日(土)	8 24
21日(日)	15
22日(月)	
23日(火)	
24日(水)	
25日(木)	13 19
26日(金)	
27日(土)	
28日(日)	
29日(月)	
30日(火)	
31日(水)	

1 双葉町民によるボランティアカフェ
7/21(木)
10:00~15:00(こころの相談可能)
いきいきサポートセンター
(双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
加須市騎西501-13 ☎048-829-7400 SSN

3 双葉町老人クラブ女性会 & さいがい・つながりカフェ
7/7(木)、8/4(木)10:00~12:00
いきいきサポートセンター
(双葉町社会福祉協議会 加須事務所)
☎080-5532-7380(薄井さん)

4 寄り添いステーション ころっせ くわっせ双葉
寄り添いステーション騎西
加須市正能11-5 ☎090-1650-2874(富沢さん)

5 ぴえろの遊び広場
騎西コミュニティセンター
sai.jacdp@gmail.com(坂本さん)

1日(金)	
2日(土)	8 28
3日(日)	16
4日(月)	19
5日(火)	
6日(水)	14
7日(木)	3 13
8日(金)	
9日(土)	16 24 26
10日(日)	27 32
11日(月)	
12日(火)	
13日(水)	
14日(木)	17 13 19
15日(金)	
16日(土)	
17日(日)	15
18日(月)	
19日(火)	
20日(水)	18
21日(木)	1 13 8
22日(金)	
23日(土)	33 16
24日(日)	25 28
25日(月)	
26日(火)	福玉便り発送 6/23(木)13:30~
27日(水)	
28日(木)	19 13
29日(金)	
30日(土)	
31日(日)	

- 一歩会 食育キッチン(じゃがいも編)
7/23(土) 10:00~12:30 草加市文化会館調理室
- ふくしま交流会「ハラショー月」
7/13(水)チェルノブイリセミナー、ロシア文化セミナー、ロシア舞踊
8/10(水)親子ロシア料理教室、ロシア舞踊
12:00~18:00 ロシア家庭料理「ターニャ」 ☎048-729-6151(NPO埼玉)
- ぼろろん♪カフェ
7/24(日) 暑気払い 川越まるひろ 屋上ビアガーデン ☎070-5594-0053(鈴木さん)
- 富岡町のつどい 江戸情緒豊かな屋形船で交流しませんか?
8/25(予定) ☎070-2650-7522(富岡町復興支援拠点事務所)